

学校運営計画					
教育方針	生徒一人ひとりを大切にすることを基本に据え、下記の教育目標を達成し、「部活で燃えろ！進路で輝け！」を合言葉に、全国に名高い部活動・進学校を目指す。 ① 人生観の指導と自信ある生活態度の育成 ② 学習意欲と能力の向上 ③ 自律自治と社会連帯の精神涵養				
昨年度の成果と課題	年度の重点目標	具体的目標			
成果：	(1) 学習指導の充実	① 質の高い授業を実施し、生徒の学力向上を図る。			
課題：	(2) 生活指導健康教育の充実	① 教職員が一致して生徒と向き合う指導を実践する。 ② 基本的な生活習慣を定着させる。 ③ 生徒達自らで律する学校を目指す。			
	(3) 進路希望実現	① キャリア教育の充実を図る。 ② 進路学習を通じて自己の在り方生き方を考えさせる。			
	(4) 特別活動の充実	① 文武両道を奨励し生徒の帰属意識を高める。 ② 生徒会活動、学校行事、部活動を一層充実させる。			
	(5) 募集広報活動	① 有効な広報活動計画を作成する。 ② 指導実践内容の情報を積極的に発信する。			
	(6) 学校経営組織体制研修	① 仕事上の自己実現を図り、充実感・達成感に繋げる。 ② 各分掌等が連携し、一致協力して指導にあたる。			
	重点目標	具体的目標	具体的方策		評価
(1) 学習指導の充実	① 質の高い授業を実施し、生徒の学力向上を図る。	教務	全職員が ICT を活用した授業を実践できるように、研修会を実施するとともに、各自研修を重ねる。	C	B
			授業見学会や研究授業などを実施し、自己研鑽できる機会をつくる。	B	
			シラバスによる詳細な学習計画と学期毎の評価を実施する。	C	
	② 主体的に学習に取り組む態度を育成する。	教務	コミュニケーション英語 I・II と数学 I・II で習熟度別クラス編成授業を実施する。	B	
			3年生の現代文（4単位）を2単位ずつの分割授業を行うことで、分野別の学習の理解をより深められるようにする。	B	
			興味・関心のある教科、検定資格を見つけ、知識を身に付ける場の工夫をする。	B	
		各教科	自分の考えや意見を ICT など活用しながら相手に伝え、また、他者の考えの良さを発見する場の設定をする。	B	
			家庭学習課題と小テスト等の実施により、家庭学習の定着を図る。	C	
			漢検、数検、英検等の受検を推奨し、基礎学力の向上を図るとともに、自ら学習を進める習慣を身につけさせる。	B	
		1 学年	図書館の活用等による調べ学習を含め、アクティブラーニングの充実を図る。	B	
			基本的な学習習慣を身につけさせるために、朝活の活用や、各教科と協力して小テストを実施する。	B	
			面談週間を活用し、生徒一人ひとりに学習に向かう姿勢を意識づける。	B	
2 学年	LHR など、将来的な進路を見据え何が必要なのかを考えさせることにより、学習に向かわせ家庭学習時間の増加を図る。	B			
3 学年	個人面談を通し、各自の進路実現のための学習課題を明確にし徹底的に取り組ませる。	B			
	共通テスト全員受験をめざすことにより、主体的に学習する態度を育成する。	B			
(2) 生活指導健康教育の充実	① 教職員が一致して生徒と向き合う指導を実践する。	生徒指導部	朝の全職員立哨指導等での生徒に寄り添う指導、生徒と向き合う指導を通して、自律的な生活態度の育成を図る。	B	
			調和のとれた品位と人間性豊かな生徒の育成を目指した組織的かつきめ細かい生徒指導を行う。	B	
			生徒の健康づくり、体力向上、安全管理、環境美化を徹底する。	B	
	② 基本的な生活習慣を定着させる。	1 学年	学年集会等で学校のルールなどを周知し、これからの高校生活の目標を定めさせ、基本的な生活習慣の徹底を図る。	A	
			2 学年	学年全体で、ふさわしい身だしなみ、時間・私物・貴重品の管理、SNS の適切な利用の指導を徹底する。	B
			3 学年	学年集会等で、下級生の模範となるように、基本的な生活習慣を徹底するよう指導する。	B

	③生徒達自らで律する学校を目指す。	1 学年	学校生活を送る中で、上級生からの指導を受け入れ、1 学年同士でも注意しあえるような環境になるように指導する。	C		
		2 学年	学年集会などで、中堅学年としての自覚を持ち、良き先輩、良き後輩としてふるまえるよう指導する。	B		C
		3 学年	学校生活のあらゆる場面で、最高学年としての自覚を持って自らを律し更に下級生を指導するように促す。	C		
(3) 進路希望 実現	①キャリア教育の充実を図る。	進路指導部	生徒自らの興味・関心を軸に課題を発見し、解決を目指す中で身に付けた資質・能力を、次の学びにつなげる。	B		
			キャリア教育の視点に立って進路活動に取り組みせ、生徒の成長を促すとともに学力向上に導く。	C		
		1 学年	さまざまな行事に積極的に参加させ、充実した高校生活を送る中で、多角的な考えが持てるように指導する。	C		C
		2 学年	総合的な探究の時間などに地域と積極的にかかわることにより、多様な生き方、考え方に触れさせる。	C		
		3 学年	「自分らしい生き方を実現するための力」を育成するために、学校行事に主体的に取り組みさせる。	B		B
	②進路学習を通じて自己の在り方生き方を考えさせる。	進路指導部	進路指導部ニュース等の進路情報や自身の活動の的確な振り返りにより、自身のより良い生き方の模索を図る。	B		
			進路検討会を設定するなど情報共有を図り、全教職員で協力して生徒の進路希望実現を図る。	C		
		1 学年	幅広い進路選択を可能にするために、自ら情報収集させ、面談等を通して、進路についての考え方を広げさせる指導を行う。	C		B
		2 学年	進路情報を自ら収集させることにより進路意識を向上させ、具体的な進路志望を早期に設定させる。	B		
		3 学年	進路ガイダンス、講話を通じて「職業的自立」「社会的自立」を高め、自分らしい生き方を実現できるように考えさせる。 高い志を堅持させ、第一志望を貫徹するように支援し、大学等進学率50%以上、就職内定率100%を目指す。	B A		
(4) 特別活動 の充実	①文武両道を奨励し生徒の帰属意識を高める。	生徒指導部	学校生活のあらゆることに主体的・積極的に取り組ませることにより、他を思いやり互いに高めあう集団づくりを目指す。	B		B
			「知徳体」の錬成、すなわち心を磨き、勉強し、身体を鍛えることにより、文武両道の人物育成を目指す。	B		
	②生徒会活動、学校行事、部活動を一層充実させる。	生徒指導部	生徒の自主性を活かした企画・運営により、趣向を凝らした2大行事(体育祭・統一祭)などの成功をめざす。	B		B
			部活動に集中して取り組める環境づくりと大会出場激励会の実施など、全校で盛り上げられる環境づくりを図る。	B		
			県内トップクラスの部活動実績を上げ、ブロック大会・全国大会への出場、入賞者の増加を目指す。	B		
(5) 募集 広報活動	①有効な広報活動計画を作成する。	教務	学校PR動画の作成とホームページの内容強化を実施する。 オープンスクールなどでの配付物の内容充実を図る。	A		A
		企画委員会	部活動専願等での志願者増加を図るため、県外を含めた情報収集を奨励し、獲得に向けた広報活動や訪問の計画を立てる。	B		
	②指導実践内容の情報を積極的に発信する。	教務	各種検定の取り組み状況や成果を公表する。 放課後講座の内容紹介や成果を発信する。	B		
		企画委員会	マスメディア等を積極的に活用し、指導実践内容や部活動の実績等の発信に努める。	A	A	
			中学校訪問や高校説明会の機会を活用し、指導実践内容や部活動の実績等を直接中学校に伝えるように努める。	A		
(6) 学校経営 組織体制 研修	①仕事上の自己実現を図り、充実感・達成感に繋げる。	企画委員会	学校としての年度の目標のさらなる明確化を図り、それに基づいたそれぞれの分掌、職員の年度の目標設定が、スムーズに行われるようにする。	B		B
			各種校内研修会を充実させ、職員それぞれのスキルアップを図る。	B		
	②各分掌等が連携し、一致協力して指導にあたる。	企画委員会	各学年、分掌、委員会の連携が密になるように企画委員会がリードし、学校運営を円滑に遂行する。	B		B
			必要に応じて、新たな課題や取組に対する体制を速やかにつくるなどにより的確に対応する。	B		
成 果	大学等進学率が2年連続で50%を割っていたが、今年度は50%を超えることができた。部活動では、野球部春季県大会優勝など県内上位レベルの結果を残し、インターハイ等上位大会で活躍した。柏崎市内を中心に中学校卒業生数が大きく減少する中で、新年度入学者を前年度以上に確保することができた。			総合評価 B		

※評価 A：十分達成 B：概ね達成 C：達成不十分 D：未達成